

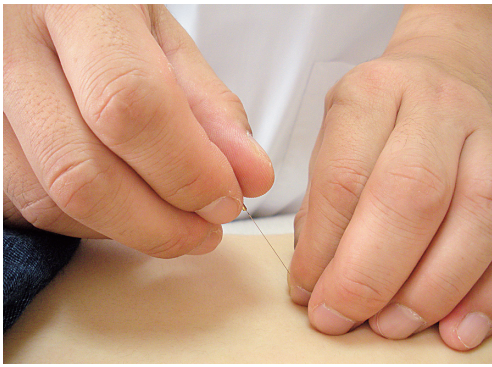
はり灸を肌にあてるだけの、経絡治療、
生命力を高め、難病の方の改善にも

「はり灸というと、痛いというイメージを持つ方もいると思いますが、はり灸はただツボにあてるだけでいいんですよ。というのもツボとは、体の中を巡っている気の流れ、経絡のポイントで、その経絡は肌の表面を流れているのですから」という今野毅先生の話は、目からうろこだ。

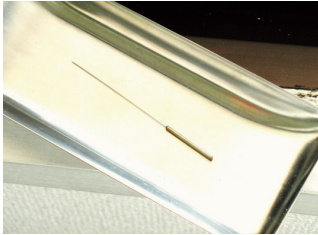
初めての患者さんが、目を閉じていつ始まるのかと待っていて、施術が終わったと聞き立ったら、あ、楽に歩ける、とびつくりされるそう。はり灸は、中国で生まれ、日本で経絡治療として独自に発展してきた

た伝統医療。気の流れにある陰陽のバランスを整えば、その人の体自身の不調の症状をとっていく、つまり自然治療していくと話す。

「生命力を強めるのが経絡治療のすごさで、内科的な疾患や心因的な病、さらにパーキンソン病やレビー小体型認知症といった、難病の方の改善にも効果がでていきます」。戦前までは庶民の治療の大きな柱だった経絡治療で、現代のさまざまな病気に悩まされている人々に希望をもってもらいたいと、勉強・研究グループ「東明塾」で切磋琢磨する先生。患者さんの6〜7割は、自宅へ出張による施術である。



接触鍼といって、体の表面のツボにはり先を当てるだけ



施術中の今野先生。「陰・陽のバランスをよくするには食事も大切。毎朝一杯の国産大豆・熟成味噌のお味噌汁が大切ですね」と食事のポイントも教えてくれる



名取市那智が丘4-1-15
☎022-393-4030
・完全予約制
営業時間/9:00~18:00
休診日/日・祝日
<http://www.demae-harikyuu.com>

こんのはり灸院